

D-1 指導案 (4年)

5. 本時の学習 (7/9)

- (1) ねらい 3を4つと+、-、×、÷や()を使って、答えが0から10になる式を考えることができる。
- (2) 準備 個人用ワークシート、班用発表シート大、短冊式画用紙、マジック、マグネット式数字カード、ホワイトボード
- (3) 展開

流れ	配時	学習活動と予想される児童の反応 (*)	T 1	T 2	評価 (○)
			指導 (●) 留意点 (・)	指導 (●) 留意点 (・)	
課題をつかむ	5分	1. 計算の順序の確認し、課題をつかむ。 ・ 計算の順序はふつう左から右であること ・ () のある式は、() の中を先に計算する。 ・ ×や÷は、+や-より先に計算する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 3を4つと+、-、×、÷、()を使って、答えが0から10になる式をつくりましょう。 </div>	・ 計算のきまりを確認させる。 ・ T 2とともに問題の意味を確認しあう。 (問題を出す)	・ T 1とともに問題の意味を確認しあう。 (問題をはる)	
自分で考える・学び合い	15分 15分	2. 課題について、まず答えが0になる式を考える。 * $3 + 3 - 3 - 3 = 0$ * $3 - 3 + 3 - 3 = 0$ * $3 \times 3 - 3 \times 3 = 0$ * $3 \times 3 \div 3 - 3 = 0$ * $(3 - 3) \times (3 - 3) = 0$ など 〈グループの友達の考えを知らう〉 ・ それぞれの考えを班で整理し、班用発表シートに書く。 ・ 1班から順に1つずつ考えを発表し、答えを確認する。 3. 答えが0以外の数の式について、やり方を知り、班で協力し合って式を考える。 ・ 式が見つかったら、シートの数字の○に色をぬる。班で、 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 答えが0になる式はたくさんあるんだね、 </div>	・ ワークシートを配る。 ● 机間指導をし、計算の順序が理解できているか確認する。(右半分担当) ・ 班で確認した式を発表シートに書くよう指示を出す。 ● 話し合いや考えが滞っているグループに入り、ヒントなどを与え	・ ワークシートを配る。 ● 机間指導をし、計算の順序が理解できているか確認する。(左半分担当) ・ T 1の指示が徹底しているか確認する。 ● 話し合いや考えが滞っているグループに入り、ヒントなどを与え	○計算のきまりを用いて、式が成り立つよう に、考えようとしている。 (関・意・態-態度・ ワークシート) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※分からなくて困っている児童には、+と-を使ってできなかと助言する。 </div>

D-1 指導案(4年)

		<p>新たに4つの式を見つけることを目標に取り組む。</p> <p>*班で数字を分担して考えてみようよ。 *みんなそれぞれ考えて、あとで合わせてみよう。</p>	<p>る。(1~4班)</p> <p>・考えが整理されやすいように黒板の準備をする。</p>	<p>る。(5~9班)</p> <p>・新しく見つけた式を、分担して短冊画用紙に書くよう指示を出す。</p>	<p>○四則混合計算や、()を用いた式の計算ができる。 (表現・処理ワークシート)</p>
まとめ	10分	<p>5. 見つけた式を発表し、クラス全体の考えがどのようになったか確認する。 *みんなの考えを出し合ったら、一人で考えるよりすごくたくさん見つかったね。 *みんなの考えを出し合っても見つけにくいものもあるね。</p> <p>6. ノートに学習のふり返りを書く。</p>	<p>・各班の考えを出し合わせ、クラスの考えを整理する。板書を工夫する。 ・発表者を指名する。</p>	<p>・計算に間違いのある式を確認し、残念ボードに移動させる。 ・他にも「4を4つで0から9」などの問題を提示して関心を高める。</p>	

(4) 板書計画

11 / 15 計算のじゅんじょを考えて

0 3を4つと+、-、×、÷、()
1 を使って、答えが0から10になる
2 式をつくりましょう。

3 0 $3+3-3-3=0$ 1 $3\times 3\div 3\div 3=1$
4 $3\times 3\div 3-3=0$ $(3+3\div 3)-3=1$

5
8 → 2
9
10 3

計算のじゅんじょ

- ・計算の順序はふつう左から右であること
- ・()のある式は、()の中を先に計算する。
- ・×や÷は、+や-より先に計算する。

4 7
5 8
6 9
10

始めは掲示しておくが、発表時にははずしておく。

(5) 授業参観の観点

- ・授業設計は適切であったか。
- ・グループ活動は有効であったか。